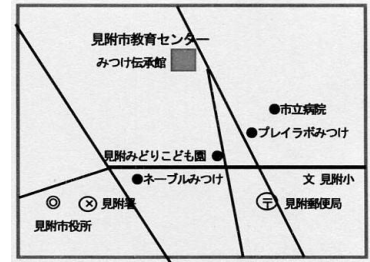




見附市教育センターだより



〒954-0052

見附市学校町2-7-9

電話/Fax 0258-62-2343

E-mail mrisen@mitsuke-ngt.ed.jp

令和7年3月10日 NO.12

春の訪れ：「ネーブルみつけ」

子どもたちとの時間を充実させたい

教育センター 嘱託指導主事 小林 修

米誌「原子力科学者会報(BAS)」が毎年1月末に発表する、人類滅亡までの残り時間を象徴的に示す「終末時計」が、1月28日の発表で、過去最短の「真夜中まで89秒」となりました。近年の世界情勢を見れば、納得しますが、あまりに凄惨な数値です。平和な世界を願うばかりです。



さて今、子育て中の皆さんは、我が子の成長を日々楽しみながらも、「早く大きくなってくれたら」と思っていないですか。そして、子どもは親である自分と、ずっと一緒に生活をするものと考えていませんか。高校まではそうかもしれませんが、大学進学や社会人になると、多くが親元を離れます。さらに、家庭を持ったり他地域に勤めたりすれば、なかなか親子で一緒に過ごす時間は持てません。突然、こんなことを書いたのは、先日『一生のうちで、親子が一緒に過ごせる時間』という記事を読んだからです。

親子が一緒に過ごせる時間(睡眠時間や勤務時間等を除いた時間で、泣いたり笑ったり、話をしたりする時間)は、生涯を通して約9年間。乳児期はほとんど一緒にいて、子育ては大変です。幼児、小学生、中学生、高校生と成長するにつれ、時間は僅かになります。生涯で親子が一緒に過ごせる9年間のうち、小学校を卒業までに55%、高校卒業(18歳)までに70%です。上述の「終末時計」ではありませんが、子どもが親元を離れたら、親子で顔を合わせられる時間は大変に少ないです。個人(家庭)差はありますが、ある教授によれば、お盆や正月の帰省等で、1年で6日程度。1日あたり親と接する時間を4時間とすると、1年で4H×6日間=1日(24H)。本当に僅かです。親子の時間の過ごし方は、量より質も重要です。一緒にいる一瞬一瞬を大切にしたいですし、親として、子育てを楽しむ姿、生き生きと生活する姿で、子どもに接することも重要です。

そして、教師も子どもたちと、一緒に生活する時間が多くはありません。以前に比べ、今は授業時間数もそうですが、小学校では、私の現役時のように持ち上がりで2年間、3年間の担任は少なく、1年毎が多いです。その中で、質の高い学級経営や学習指導が行えていると思いますが、学年末を迎えた今、一年間を振り返って欲しいものです。この時、一人一人の顔を思い浮かべ、学級生活を楽しくしていたか、確かな学力が定着できたかの確認が重要です。これを行うことで、教師力(経営力や指導力)が高まります。

巻頭写真に寄せて ネーブルみつけで、一足早い春を満喫する

◇巻頭写真には、土筆に落のとうに、白や紫の雪割草、かたくりの花もあります。早春の山野草ですが、ここは温室の植物園ではありません。これらはみな、布で作られた作品です。「えっ！どこで撮影？」って思われましたか。右写真を見るとわかるように、ネーブルみつけで開催をされた(2月18日～3月4日)『つり飾り展』の展示作品です。2月初めの寒波に続き、大寒波の襲来となった18日(火)に、見に行きました。会場に入ると、中央に置かれた7段飾りの豪華なひな人形と、数多くのつり飾りの美しさに、目を奪われ見入りました。そして、その美しいつり飾りの下に、山野草があることに気付きましたが、「これは、愛好家の皆さんが室内や温室で、丹精込めて育てた山野草が飾られているもの」と思って、近づいてビックリです。これも作品(「絲の会」の制作)でした。毎年、子どもたちの健やかな成長を祈って作られるつるし飾りは、「花」「鳥」「俵」「鞠」等、実に多種多様の作品があり、そのレベルの高さに圧倒されます。中でも私は「可愛く育ちますように」の願いが込められた花(右写真)が一番のお気に入りです。また、今回の『つり飾り展』では、この本物そっくりの山野草から、寒波襲来の中で、一足早い春を満喫させていただきました。



コラム … 子どもの側からの「親との時間」(巻頭言続編) …

◇今、教師を目指す人が少なく、教員不足が問題になっていますが、私はもう一つ大変だと思ふことがあります。それは、力のあるベテラン教員が親の介護のために辞められることです。師がくで、授業後の話し合いをします。私は最後にお礼を言い「若い先生方を助けてね。」とお願いをすると、「実は…親の介護で、今年で辞めようと考えています。」と言う人が、毎年おられます。家庭事情で仕方のないことですが、力量の高い教員がいなくなることは大きな損失です。この問題にも手を打ってほしいものです。

◇さて巻頭言では、子育て世代に向けて、先輩からのアドバイスをさせてもらいました。子育てが一段落すると、上述のように「親の介護」がきます。健康で長生きを願っても、誰でもいつかは介護が必要になります。介護は、一緒に暮らしての介護、他所で暮らしての介護、また家族で行う、子どもが分担して行う等、やり方は色々ですが大変です。

◇私の家も母の介護が必要でした。私が退職を迎えた時、家は妻と母の三人暮らしで、認知症が始まっていた母を、家でみていた妻から「面倒をみるのが大変。4月から(私に)面倒をみて。」と、言われました。ところが、退職直前に介護施設に入所が決まって、母は施設で生活しています。24時間面倒を見てもらっているお陰で、母は今も生きています。私が母と過ごす時間について紹介(子どもの側から親と過ごす時間)をします。

◇私は毎週、施設に洗濯物を取りに行きます。初めは、15分程の話(月に15分×4回)が出来ていました。ところがコロナ化を経て、心身とも急激に悪化をして、何も分からない状態になり、今はインフルエンザの流行期で、面会時間は10分程です。喋れず寝たきりの母が、ただ私は分かるようで「う～(私の名前を呼ぶ)」と言うと、とても強い力で私の手を握り、安心して眠ります。ですが、僅かの時間で目を開け、私がいるか確認をして、また手を強く握り、眠ることの繰り返しです。そのうちに私の方が眠くなり、ウトウトしてしまいます。いくつになっても母の手でしょうか。これも幸せですが、親が健康でいる時に、「話を一杯しておくことが大切だ。」と、改めて感じています。(こ)



令和6年度「指導力向上ドック」の結果から

教師の指導力の向上のために、「師がく」との連携によって、「見附 教師の10カ条」を指標として、自己診断※する「指導力向上ドック」を集約したところ、下記の結果となりました。

※自己診断…「見附教師の10カ条」の中から、教師が自分自身を振り返り

今年度達成できた項目を選択（複数項目選択可、最大5項目まで選択）

項目1、2、3や7の割合が高く、授業の導入や課題設定、学びの場の環境整備等、指導力の向上が見られました。一方、項目4、5や8、10の割合が低く、子どもの考えを広げ深める学びの実現や振り返り、定着した基礎基本の活用が課題となっています。

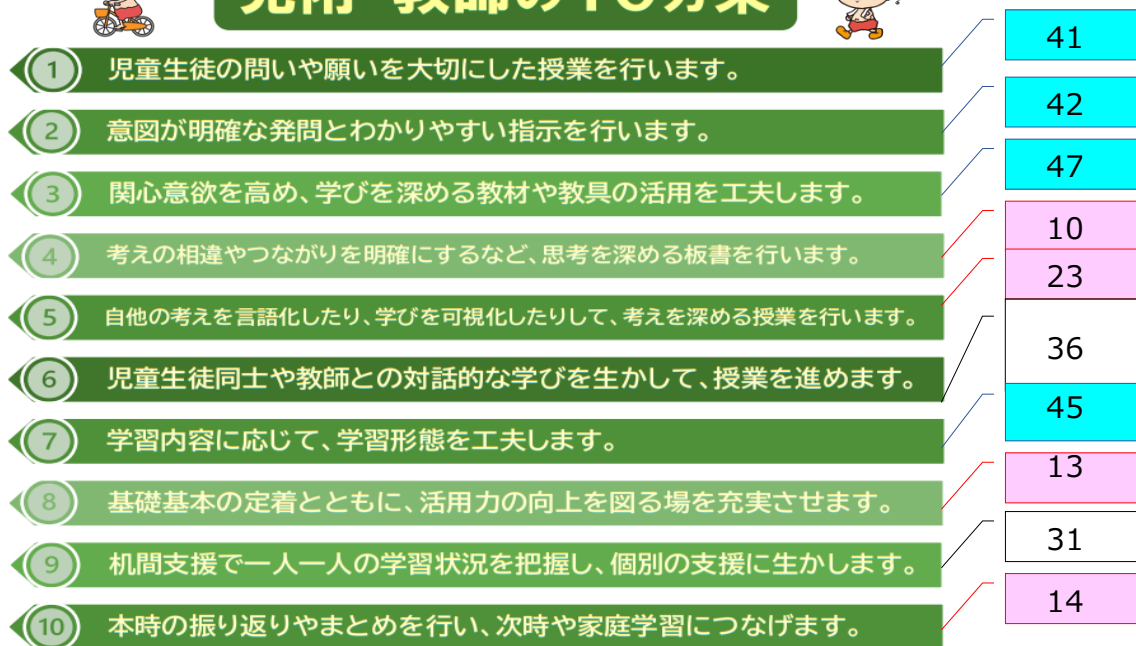
自他の考えを比較したり言語化したりすることは、多様な視点を得て思考を深め、協調性を育みます。振り返りは、学習内容の定着、自己理解の促進、メタ認知能力の向上に繋がります。両者を組み合わせることで、学びがより効果的になり、深い理解と成長を促します。次年度も管理職、研究主任のマネジメントのもと、「師がく」と連携して、授業改善を進めてくださいますようお願いいたします。

*下の数値は%

青色：成果、赤：課題



見附 教師の10カ条



<「師がく」受講者の声>

授業の型や細かい指導技術等、今の自分に必要なことを指導していただいた。「教師の10カ条」も、定期的に確認することで、自分の授業の改善に役立てることができた。

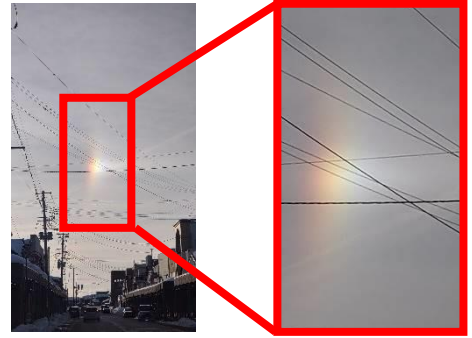
自分では気が付かなかった子どもの思考の様子や子ども同士のやりとりを教えていただいて、発見があった。継続してご指導いただくことで、苦手意識をもっていた教科の学習指導の行き詰まり感が少し軽くなった。

的確な指導をいただき、新しい視点を獲得することができた。具体的には、生徒の問いを大切にできる姿勢や構えを教わることができた。まだ、実践に生かし切れていないが、これからも生徒の問いを大切に指導していきたい。

「教え込み」ではない、探究的な学び、対話的で深い学びを目指した授業にシフトチェンジできるよう、授業改善に取り組んでいきたいと思った。

3月

科学教育部



《今月の1枚》
幻日 新町1

【誰もが使える理科室にしましょう！】

年度末になり事務処理に当たられていることと思います。お疲れ様です。私たちが、仕事をする環境を整えることはとても大切です。理科に関しては、理科室・準備室・薬品庫等の環境を整えておきましょう。今年度、授業を行っていて気になったところ、例えば、「この道具がなかった！」「教具の場所がわからない！」等を解決しておくことで、新年度の授業が円滑に進めることができます。

<薬品や実験道具が不足>

今年度のうち、遅くとも来年度のスタート時までには注文しましょう。あるいは、次の担当者に確実に引き継ぎましょう。

<教具の場所がわからない>

教具の在る場所がわかるように、名称を記しましょう。大人も子どもも場所がわかるといいですね。場所がわかれば、自分たちで準備ができるようになります。私たちの負担が減るとともに、考えて動ける力が育ちます。

<不要教材を処分>

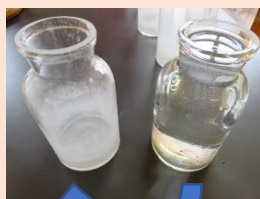
理科室の中には「いつのものだろう？」といった、実験の教材として使わないものが眠っていることがあります。1年間使用しなかったものは、今後も使用しない可能性が高いです。時間がある学年末に、処分をしておくことで理科室もスッキリします。

<教具の汚れもきれいに>

なかなか落ちにくい汚れも、薬品を使うと落としやすくなります。年度末の清掃にも役立つ薬品もあります。なぜ、その薬品で汚れが落ちるのかといったことも、生活の中にある科学です。



汚れた
集気びん・・・



クエン酸水溶液を入れる
30秒~1分で
次のビンに移すだけ！




簡単にきれいになります！

誰もが使える理科室環境にすることで、未来への投資になります。できることから少しずつ取り組むことで、自分だけでなく、先生方の負担が軽減されていきます。

【小学校の新年度の最初の学習準備】

4月になると、新しい学年での授業が始まります。もしかしたら、理科を初めて担当する先生や担当学年の授業が初めてという先生がいるかと思います。今年度の内に、理科主任の先生を中心に、校内全体で教材の準備を計画しましょう。各学年で考えられるものは、次の通りです。

3年生	1 しぜんのかんさつ 2 植物を育てよう 3 かげと太陽 4 <u>チョウを育てよう</u>	<ul style="list-style-type: none"> ・虫めがね、観察板 ・ホウセンカの種、ヒマワリの種 水につけておくことで発芽率を高めることができます。 ・遮光板、温度計、方位磁針（北を指しているか） 方位磁針は1年間使わないと、南北が反対になっているものもあります。磁石を使って直しておきましょう。 ・キャベツの苗 モンシロチョウに卵を産ませます。 
4年生	1 季節と生き物 2 <u>1日の気温と天気</u>	<ul style="list-style-type: none"> ・ヘチマの種 発芽が安定しないことがあるため、予備が多めにあると良いです。 ・<u>温度計、百葉箱など気温の観察道具の点検</u>
5年生	1 <u>ふりこの運動</u> 2 種子の発芽と成長 3 <u>魚のたんじょう</u>	<ul style="list-style-type: none"> ・振り子の実験器 予備実験をして、正確に動くかどうかを確かめましょう。 ・インゲンマメの種、ヘチマの種、アサガオの種 つるなしのインゲンマメを選ぶと場所を取りません。 ・メダカの水槽 メダカが安心して過ごせる水槽を用意しておきましょう。 <p style="color: red;">↑新年度も希望する学校にメダカを配付します。</p>
6年生	1 ものの燃え方と空気 2 人や動物の体	<ul style="list-style-type: none"> ・ろうそく、集気びん、底のない集気びん、ふた、燃烧さじ、石灰水、着火装置、線香、気体検知管とポンプ、実験用気体ボンベ（酸素、二酸化炭素、窒素を班の数+予備2~3本）、安全めがね ・ポリエチレンの袋、石灰水、安全めがね、気体検知管とポンプ、ヨウ素液、乳棒、乳鉢、温度計 <p style="color: red;">↑気体検知管は、デジタル気体検知管を貸し出すことができます。ぜひご利用ください。</p>